

CAN-DO リスト

学年目標（5年生）

自分や相手のこと、身近な人や場所について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、相手に配慮しながら伝え合うことができる。

アルファベットの活字体の大文字・小文字を識別し、書くことができる。

領域別目標（CAN-DO リスト）

【略語】 U = Unit / CYS = Check Your Steps

5年	聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
U1	名前やつづり、好きなもの・ことについてのやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取ることができる。	アルファベットの活字体の大文字・小文字を識別し、その名前を読むことができる。	名前やつづり、好きなもの・ことについて、たずねたり伝えたりすることができる。	名前やつづり、好きなもの・ことについて話すことができる。	アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。
U2	誕生日や欲しいものについてのやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取ることができます。		誕生日や欲しいものについて、たずねたり伝えたりすることができる。	誕生日や欲しいものについて話すことができる。	
U3	できることやできなうことについてのやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取ることができます。		できることやできなうことについて、たずねたり伝えたりすることができる。	できることやできなうことについて話すことができる。	
CYS1	自分のことを伝える発表を聞いて、具体的な情報を聞き取ることができます。		自分と相手のことについて、たずねたり伝えたりすることができます。	自分のことについて、伝えようとする内容を整理したうえで話すことができる。	
U4	身近な人について紹介するやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取ることができます。		身近な人について、たずねたり伝えたりすることができます。	身近な人について、伝えようとする内容を整理したうえで話すことができる。	アルファベットの活字体の大文字・小文字の名前を聞いて書くことができる。
U5	町の施設などがある場所についてたずねたり答えたりするやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取ることができます。		町の施設などがある場所について、たずねたり答えたりすることができます。		
U6	食事の注文をしたり、値段をたずねたりするやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取ることができます。		丁寧に食事の注文をしたり、値段をたずねたり答えたりすることができます。		

5年	聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
CYS2	身近な人や地域のことについての発表を聞いて、具体的な情報を聞き取ることができる。		身近な人や地域のことについて、たずねたり伝えたりすることができる。	身近な人や地域のことについて、伝えようとする内容を整理したうえで話すことができる。	
U7	日本の行きたい場所とそこでしたいことについてのやり取りや発表を聞いて、具体的な情報を聞き取ることができる。		日本の行きたい場所とそこでしたいことについて、たずねたり伝えたりすることができる。	日本の行きたい場所とそこでしたいことについて、伝えようとする内容を整理したうえで話すことができる。	
U8	憧れの人についてのやり取りや発表を聞いて、具体的な情報を聞き取ることができる。		憧れの人について、たずねたり伝えたりすることができる。	憧れの人について、伝えようとする内容を整理したうえで話すことができる。	
CYS3	日本の魅力と憧れの人についての発表を聞いて、具体的な情報を聞き取ることができる。		日本の魅力と憧れの人について、たずねたり伝えたりすることができる。	日本の魅力と憧れの人について、伝えようとする内容を整理したうえで話すことができる。	
学年 到達 目標	日常生活に関する身近なことについてのやり取りや発表を聞いて、具体的な情報を聞き取ることができる。		日常生活に関する身近なことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	日常生活に関する身近なことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	

※目標の到達度を見取る活動が単元末に設定されている場合、グレーのアミを付している。

観点別評価規準（5年生）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 日常生活に関する身近なことに関する簡単な語句や基本的な表現を理解している。 技 日常生活に関する身近なことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、コミュニケーションを行う技能を身につけている。	目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近なことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、コミュニケーションを行っている。	他者に配慮しながら、日常生活に関する身近なことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、主体的にコミュニケーションを行おうとしている。外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。